

— 政策提言 —
暦と星が息づくおおい

ジャンル（１）発信したい観光資源

暦と星で楽しみ隊

チーム紹介

- 代表 中村 賢一／自営業・56才・名田庄天体観測クラブ「星の庄」クルー
- 中塚 一成／公務員・54才・名田庄天体観測クラブ「星の庄」クルー
- 萩原 茂男／自営業・59才・NPO法人 森林楽校・森んこ代表
- 田中 俊弘／自営業・50才・（株）カネイチ代表
- 中村 椋 /会社員・24才・進工業（株）勤務

「名田庄天体観測クラブ・星の庄」として、10年以上各地で観測体験を実施、現在も実施中

「NPO法人 森林楽校・森んこ」として、旧暦に即した活動を現在も実施中

「もっと楽しいおおい町」をめざし、町内・町外の方々と協力し、相互に発展できればと考えています。

提言

- 暦の本拠地であるおおい町で、**旧暦**という**自然**に即した**暦**と、**星**という**無料**で**無限**の**財産**とを交流・観光の大きな材料として利用可能であること
- その2つを活用するため新設・導入する施設・設備と既存の施設・設備とを**融合**させて実施する**観光面での取り組み**により、**交流人口**が増加し、おおい町の**ファン**を増やし、町の観光、産業の**活性化をサポート**することが可能であること

何がしたいかというところ…

- 自然暦としての旧暦を学び、活用しましょう。
- 暦会館とその周辺施設を活用して、「星の里」を作りましょう。
- 星空を守る取り組みをして、おおい町を「星空のサンクチュアリ」にしましょう。
- 暦と星空を利用したキャンプ、星（宙）フェスティバルなどを実施して、交流人口とファンを増やしましょう。
- 地域産業を活性化させましょう。ユニークな取り組みを増やしましょう。

本日のお品書き

- 暦あれこれ
- 「旧暦」
- 星に関わるあれこれ
- 活用例の提案



暦いろいろ

- 太陽暦
- 太陰暦
- 太陰太陽暦

暦あれこれ

- 暦（こよみ）の語源は、日読み（かよみ）から。
- 月を読んだら、多分月読み（つくよみ）。
 - （国生み神話で生まれた神様3柱は、アマテラス・スサノオ・ツクヨミ）
- 日を読んで作られたのが太陽暦
- 月を読んで作られたのが太陰暦
- 太陰暦を基本としながら、実際の季節に暦を合わせる努力をしたのが、太陰太陽暦
- 太陽暦ベースで活動する地域は多い。
- 太陰暦は中東など、暑いところが多い（四季の変化が少ない）
- 日本では、農曆などから

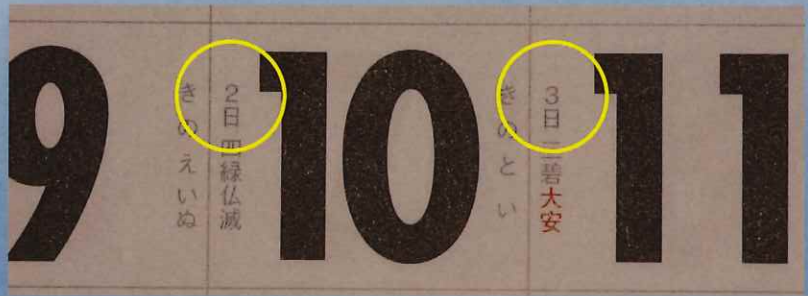
太陰太陽暦

- 純粹の太陰暦（月暦）では、1年が354日となり、太陽暦の1年（約365日）とは3年で約1ヶ月のずれとなる。
- そこで、**二十四節気**を参考にしながら**閏月**を挿入することで、暦と季節を合わせる努力が続けられてきた。
- Cf.**メトン周期**：太陽の19年は、月の235ヶ月（19年7ヶ月）とほぼ等しい
- よって、**19年に7ヶ月**を入れることで、調整を図る。

- 節気のうち、中気を含まない月を**閏**とする。（ほぼ2,5,8,10月が閏となる）
- 雨水を含む月を1月
- 冬至が11月

言葉と暮らしに残る「旧暦」

- 「新暦」(太陽暦：グレゴリオ暦) に対する「旧暦」
- ザックリと太陰太陽のこと
- 旧暦は便利
- いわゆる「旬」について



旧暦



LuniSolar Calendar

霜 師 走 睦 日
神 齋 日
長 日
葉 日
夕 日 氷 齋 日 奉 日
卯 日
産 生
卯 日

四季を味わいココロを満たす
太陰太陽暦カレンダー
・21世紀の日本文脈として世界に紹介され、
四季の文化がひと目でわかる。
・歴史、古民、家庭薬膳、農業に、
季節を元気にビジネスに活かす。

あなたの購入が、太平洋諸国の
若者育成奨励につながります
主催 発行 一般社団法人 南太平洋協会
2018・2019・2020

旧 自然 暦
スローライフの必須アイテム!
太陰太陽暦カレンダー
平成31年〜 元年 己亥(つちのとい)

2017年 卯月 卯月 卯月

2017年 辰月 辰月 辰月

2017年 巳月 巳月 巳月

2017年 午月 午月 午月

2017年 未月 未月 未月

夏 雨留神時 (雨留神時は19日→20日)

2017年 未月 未月 未月

2019年 陸月 陸月 陸月

2019年 如月 如月 如月

2019年 弥生 弥生 弥生

春 同過竹秋 (同過竹秋は19日→20日)

月(旧暦)	季節	区分	
1月	春	初春	
2月		仲春	
3月		晩春	
4月	夏	初夏	
5月		仲夏	
6月		晩夏	
7月	秋	初秋	
8月		仲秋	15日→中秋
9月		晩秋	
10月	冬	初冬	
11月		仲冬	
12月		晩冬	

- 二至二分
- 二十四節気
- 「節」と「気」
- 七十二候

中秋の名月・後の月



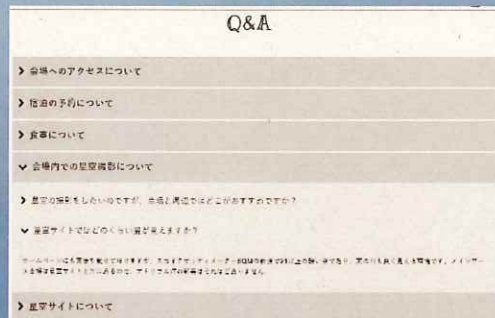
旧暦の便利さ、旬

- 旧暦の閏月を利用する
- 季節の変わり目を知る
- 言葉の由来を知る
- 歴史・文化の中の旧暦
- 食べ物の旬を知る
- 趣味に生かす

星を生かす

どこにでもある星空ですが、星空を嫌いだという人は聞いたことがありません。ところが、この星空が美しさで他の県に負けないことを福井の人たちはほとんど知りません。見えるのが当たり前になっているんです。実は素晴らしい資源であることを。(福井工業大学 中城智之教授)

- 星空の価値を数値化する。
- 石垣島 22.0
- 鳥取市 21.1
- 四万十市 21.2
- 南牧村 21.1
- 北海道弟子屈町 21.5



- 21等級で、天の川が見える。
- おおい町の数値を出してみた。→

現状の設備を少し改修するだけで

- キャンプ設備の提案と貸し出し
- 活動マット
- 星座早見盤
- 赤色懐中電灯、照明
- 光害の少ない照明に付け替えた広場
- 星空鑑賞会や各種イベントを行う芝生の広場
- 快適に星空撮影や天体観測ができる星空デッキ
- 展示会やワークショップを行うホール
- 星空鑑賞を行うためのグッズを備えたショップ



ポータブルプラネタリウム



- 流星館コンベンションホールで定期的に開催
- 地域の学校、公民館、商業施設、イベント会場など
- 学習投影と、一般投影
- 月の動き、地球の動き
- 天候に左右されない
- 固定施設に比べ安価
- 本物の空があるから、力む必要はない。

人材育成と条件整備

- 星空と地域資源、観光について語ることができるコンシェルジュを養成する。
 - 「おおいの人に聞くと、旧暦と星の基本は教えてくれる」状態が理想。
 - 星についての案内、説明を楽しく話せる人材の育成
 - 導入するプラネタリウムを運用するための人材育成
- 星空を鑑賞し、楽しめる情景を増やす。
 - 1宿に
 - 1望遠鏡
 - 5双眼鏡
 - 10星座早見
 - 1人語り部 作戦
 - 陰陽師コスプレ、陰陽師の仕事体験

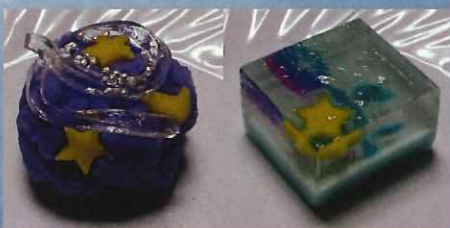
活動プラン 1 イベント

- ・ 滞在型体験
- ・ 自然を下（地面）から上（宇宙）まで楽しみきる
- ・ 最寄り駅からストーリーを組み込んだツアープラン
- ・ 体験，食事，夜の活動から星空へ（ナイトハイク，日常から非日常へ）
- ・ 旧暦に即した行事の実施
- ・ 町内宿泊および近隣市町提携施設宿泊プラン



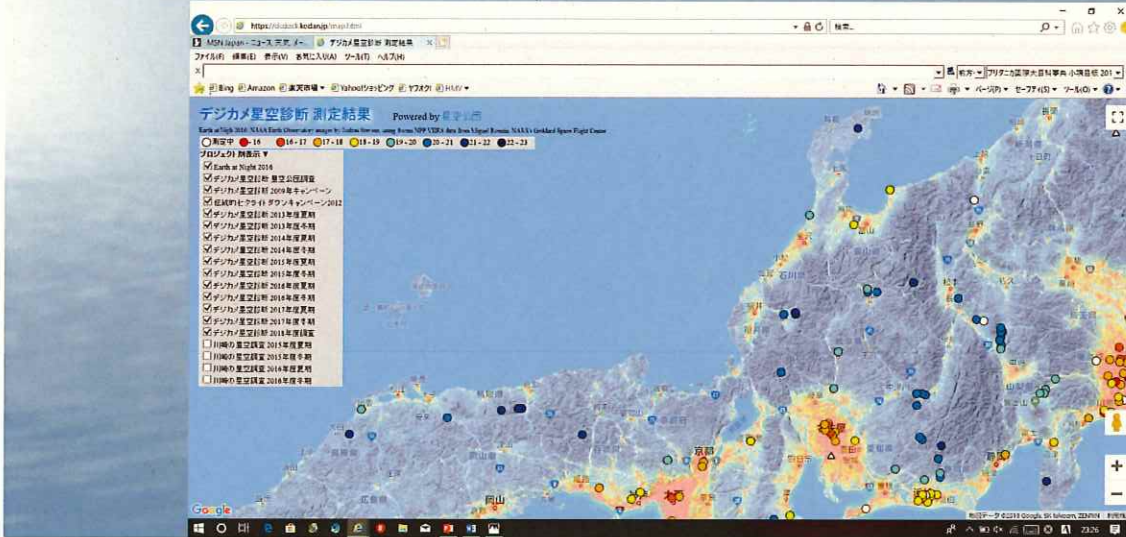
活動プラン 2 町の取り組み・商品開発など

- ・ ライトダウン
- ・ 町全体でスターフェスティバルを実施する（三鷹市）
- ・ 商業施設を星空モチーフにブラッシュアップ
- ・ 町内どこにでも旧暦カレンダーを掲示する
- ・ 星や暦をモチーフにした食事，カクテル，ビールなどの開発



活動プラン 3 「地域の造り替え」としての暦・星

- ・ 「おい町は、星のためならここまでやります」
- ・ 星空公団（デジカメ星空診断）、福井工業大学との連携



生涯学習・PR・情報発信

- ・ 暦を知ること、歴史がより面白くなる。
- ・ 暦学、天文学からの派生
- ・ おおい町内への暦の普及
- ・ 旧暦勉強会
- ・ 広報おい中に「今月の旧暦」のコーナー
- ・ 公民館へのポスター掲示
- ・ 旧暦ベースでの伝統行事の推進
- ・ パンフレット、ちらし、ポスター掲示
- ・ 魅力的で面白いゆるキャラ
- ・ インターネット、TV、ラジオ番組
- ・ インバウンド需要に向けた、多言語化

終わりに

- おおい町の美しい空と、曆の歴史、土御門ヶ3台の歴史を組み合わせれば、観光面に活用すれば、他の地域にはないおおい町独自の魅力として、今後の世代にわたって動かぬ財産になる。
- PRにつとめ、交流人口の拡大、おおい町の発展につなげる。

ご清聴ありがとうございました。